

2011年4月1日以降2028年10月31日の間に当科を  
受診され、ASLを含めた脳MRI検査を受けた全ての患者さんへ

当院では「脳血管障害におけるASL-MRI法の血流遅延評価の有用性の検討」という研究を実施しています。研究結果は学会発表および学術論文として公表する予定です。患者さんには研究主旨をご理解いただきご協力下さいますようお願いいたします。

【研究内容詳細】

① 情報の利用目的、方法（研究概要等）

無侵襲脳血流検査であるArterial Spin Labeling-MRI (ASL)法を2つの条件で撮影することで、脳血流だけでなく血流到達にかかる時間がわかる可能性があり、これが臨床に役立つかどうかを調べるのが本研究の目的です。

② 利用する情報の種類・項目

2011年4月1日以降2028年10月31日まで当科を受診され、ASLを含めた脳MRI検査を受けた全ての患者さんを対象とします。研究期間は2028年11月17日までです。

通常の保険診療で得られた診療データ、画像のみを使用する研究で、画像情報のほか、年齢、性別、その他お持ちの病気、症状、など、カルテ上の情報も同時に検討いたします。診療情報は、研究期間中は随時収集致します。患者さんのお名前、住所といった個人情報には使用しません。また研究結果の発表時にも個人情報には使用しません。

調査する項目は以下のとおりです。

- ・他脳血流検査画像との比較（脳血流造影MRI, SPECT, PET）
- ・疾患による違い（もやもや病と動脈硬化性脳血管障害など）、健常人との違い
- ・手術後など病態変化に伴う継続的变化
- ・年齢による違い
- ・健常人における、複数（5つ）のpostlabeling delayによるASL画像から算出される血流通過時間と、2つのpostlabeling delayの比（ASL ratio）の相関
- ・ASL画像から算出されるASL変動係数、ASLスコアと他脳血流検査画像との比較

③ 情報の管理の責任者

研究の情報は、研究責任者（教授・前原 健寿）のもと、東京医科歯科大学脳神経機能外

科学分野医局・実験室で保管されます。

④ 問い合わせ先／苦情窓口

研究への参加を希望されない場合や研究に関するご質問がある場合は以下の連絡先へ  
ご一報下さい。

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

東京医科歯科大学脳神経機能外科学分野

電話：03-5803-5676（脳神経外科外来ダイヤルイン）9:00-17:00

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務部

03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

本研究は運営費と文部科学省科学研究費補助金を用いて行われます。本研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではない か・研究結果の公表が公正に行われたいのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

以上